|  |
| --- |
| 11月　　25日（　日　）　　第9課　–２日目　　　クラス：\_\_高校1\_＿年\_\_６\_＿組　　　人数＿20＿＿＿　　　担当＿＿＿＿＿　　1コマ＿40＿＿分学習目標：日本の「習い事」の習慣を知り、クラスメイトと話し合い、日中の共通点や相違点に気付く。習い事のグラフを見て、データを分析し、日中の習い事文化について自分の考えをもつことができる。 |
| 時間 | 段階・目的 | 教師 | 学生 | 教具・備考 |
| 5min | 導入目標提示 | 「今日のテーマは習い事です。習い事は何でしょうか。趣味は週末に一人でもできますが、習い事は専門の学校に行って、先生から習います。例えば、英語塾やピアノ教室などが習い事です。皆さんは子どもの頃、何か習い事に通っていましたか？」答えが出たら、「何歳のことでしたか。」「いつからいつまで習いましたか。」などと問いかける。 | 自分で考えて先生の質問に答える。 | （予想の答え：ピアノ、書道、英語など） |
| 15min | P101のグラフを読む | 子供のころの習い事についてみなさんから少し聞きましたが、では、日本の子供はどうでしょう。日本の習い事の特徴として、幼いころから習い事をする子供が多いというのがあります。P.101ページの2番を見てください。日本の厚生労働省が調査したデータでは8歳の児童の75％以上が習い事をしているという結果がでました。今から、この表をよく見て、まずはグループで話し合って、グラフの中にある習い事を自分の考えで二種類か三種類に分けてください。5分後に各グループに発表してもらいます。分類方法とその理由が必要です。それから質問をします。質問：習い事の中で人数が一番多いのは何ですか。　　　女の子の中で習い事の上位5位を並んでください。　　　男の子の中で習い事の上位5位を並んでください。　　　　　　両方5位に入っているのはどれですか。（水泳、通信教育、英会話）　　　　　　　　　 | グラフを読んで考えるグループで話し合い、自分なりに考えてから意見を言う。 | （予想の分類方法：①運動系：水泳　サッカー　剣道　柔道　体操　野球音楽系：バレー　日本舞踊　ピアノその他：通信教育、書道、英会話、予備校、そろばん②一人でもokな活動：水泳、体操、剣道、バレー、日本舞踊、ピアノ、通信教育、書道、予備校、そろばん団体活動：サッカー、柔道、野球、英会話③体を動かすタイプ：水泳　サッカー　剣道　柔道　バレー　日本舞踊　体操　野球あまり動かないタイプ：ピアノなどの音楽、通信教育、書道、英会話、予備校、そろばん↓即ち体育系と文科系） |
| 5min | DVDを見る | 日本の子供の習い事についてデータを見て分析しましたが、では、実際の場面をいくつか見てみましょう。どんな習い事があるか、中国でも似たような習い事があるかどうか考えながら見てください。 | DVDを見ながら考える |  |
| 10min | DVDの内容に基づき考える | 「何か、面白いなと思ったことや気づいたことがありますか？どうしてこのような習い事をするのでしょうか？習い事をする利点も考えてみましょう。グループで1分だけ話し合ってください。」（５分後に発表させる）理由・周りの友だちがやっているから・親の期待・勉強時間が少ない・お金持ち・将来のためなど利点・スポーツをすると、健康になる・文科系の習い事で、頭が良くなる・才能が見つかる・趣味を見つけるなど | グループで面白こととその理由を考える | どんな理由でも良いが、日本文化の特徴として集団行動を好む、子どもの教育に熱心、学習量にゆとりがある、などに気付くと良い。（教師から指導はしない。） |
| 5min | まとめ | 「それでは、今日は面白いこと不思議に思ったことがたくさんあったと思います。みなさんに自分に相応しい習い事を選んで前向きで身につけるものがたくさんあったらいいなと思っています。」 |  |  |